

むつみだより

11月号



空気が澄んで活動するのに良い季節となりました。運動会という大きな行事を終えた子ども達は自信もつき、心も体も一回り大きくなったように感じています。

お散歩から帰ってくると、いろいろな種類のどんぐり、カラスウリ、数珠玉などの秋の恵みを持ち帰り、製作に使ったり、しいのみは炒って食べたりと秋真っ盛りです。今後、製作した作品は作った後クラスに飾りますのでご覧ください。

朝晩と急に涼しくなり、風邪をひいている子もいます。外から帰ったら、うがい手洗い、十分な睡眠をとり今月も元気に過ごしていきましょう！

11月の行事予定

- 1日(木) 富来田中 職場体験学習(2日まで)
- 2日(金) 10月分延長保育料集金袋配布
- 5日(月) 10月分延長保育料集金
- 6日(火) なのはな組：交通安全教室(午前中)
- 13日(火) 防犯訓練(想定：時間外保育中に不審者の侵入)
- 14日(水) ふきのとう組懇談会 13:30～
あけび組 おはなし会
11月分絵本代・保護者会費集金袋配布
- 15日(木) 11月分絵本代・保護者会費集金
- 16日(金) たんけんの日(なのはな組以上児：矢那川ダム)
きいちご組 懇談会 13:30～
- 20日(火) 請西小6年生 職場体験
- 21日(水) 避難訓練(消防署来園)

※11月3日(祝・土)木更津あかり祭～夜灯～ 17:00～20:00

※12月8日(土)第2回公開リズム(りんどう組・3歳以上児)



○保育料振替日は
11月30日(金)です。
前日までに入金
をお願いします。

平成31年度 入園申請受付日

平成30年11月22日(木) 13:30～15:30

おいもほりしたよ！

10月10日(水)に今年も畑の先生、やまも組の吉元琉太君のおじいちゃんに来ていただきお芋ほりをしました。土の中に手を入れ、掘っていくと、中からおおきなお芋がゴロゴロ出てきて、「あった。こんなにおおきい！」と大興奮でした。

掘ったお芋はさらに甘くなるよう天日に干し、いつもお世話になっているご近所の方にあけびさんがお届けしました。ご近所の方も「ありがとう」と喜んでくれました。



薄着の習慣は寒くなる前に

これから冬に向けて徐々に気温が下がっていきます。風邪をひかないようにという親心からつい厚着になりがちです。

薄着で過ごすことで皮膚が外気に触れ、寒さを知ることで体に備わっている調整機能が高まり、風邪をひきにくい丈夫な体作りができます。

子どもは体温も高く、活発に動くと汗をかきます。目安として大人より1枚少なくしましょう。秋になっても良く汗をかいているお子さんは、着せすぎているかもしれません。

肌着(ランニング又は半袖)の上に薄手のTシャツ。朝晩は上着を羽織りましょう。もっと寒くなりましたら、Tシャツの上にトレーナーなどで重ね着をします。重ね着をすることにより、服と服の間に体温で温まった空気の層ができます。

厚手の服を1枚着るよりも保温性が高まり、薄手の重ね着は動きやすく機能的です。

薄着の習慣は、本格的な冬が来る前の今から始め、お子さんの体調により調整して下さい。

おしらせ

10月9日、10日開催の保護者説明会にはお忙しいところ多数お集まりいただきありがとうございました。市内3法人4保育園(長須賀保育園、さとの保育園、岩根保育園、木更津むつみ保育園)が来年4月から認定こども園に移行します。認定こども園は、保育園機能と幼稚園機能を併せ持つ施設です。幼稚園児に当たる児童を行政用語で1号認定といいます。保育園児に当たる幼児を2号認定(3歳以上)、3号認定児(3歳未満)といいます。1号認定の定員は各年齢5名ずつとしています。2号認定、3号認定についての定員について変更はありません。1号認定は直接保育園に、2・3号認定は市役所に入園申請書を提出して頂きます。

保育料の決定は住民税額により木更津市が行います。こちらに変更はありません。すべての保護者は市役所ではなく、口座振替により保育園に収めていただくことになります。保育園としては、保育料収納のための口座を新たに開設する予定です。

平成30年4月現在、認定こども園は全国で6,160箇所、そのうち幼保連携型認定こども園は4,409箇所あります。国の労働政策によっては認可保育所から幼保連携型認定こども園に移行する施設が増加すると思われます。保護者が仕事を辞めたことにより保育園を退園することなく、乳児期から慣れ親しんだむつみ保育園で卒園出来るようになれば子どもも大人も安心できると思います。

木更津むつみ保育園は、昭和54年4月から保育園を運営してきました。「子どもの健やかな成長を願い、保護者の皆さんと手を携える保育園運営」を目指してきました。幼保連携型認定保育園に移行しても、運営方針に変更はありません。時代の要請に応え、さらに充実した乳幼児施設として乳幼児保育・教育を行っていきます。ご支援よろしく願いいたします。